

南木曽ろくろ細工新商品開発研究会・企画書

研究会名	南木曽ろくろ細工新商品開発研究会
製品開発企画名	茶びつを活用した商品（仮）
概要	<p>南木曽ろくろ細工の代表商品である茶びつを基盤とした新たな商品の開発を検討する。現代の生活様式に適合した茶びつのあり方を検討し、新たな用途が模索されている事例も踏まえながら、インバウンド需要や海外市場を視野に入れた新商品として開発する。仕様やデザインについては外部専門家も交え、研究会で決定し、試作品の開発、テストマーケティングを経て商品化を目指す。</p>
製品開発計画（仕様）	<p>茶びつの新たな仕様の検討          新様式デザインの決定（現代の生活様式への対応、インバウンド対応など）          改良・試作を重ね、商品企画を決定する。          商品 PR パンフレットの仕様決定</p>
試作等に係る概算経費	146,000 円（材料、試作開発費等）
<p>現在の茶びつ          （※転載厳禁）</p>	

木曾漆器新商品開発研究会・企画書

研究会名	木曾漆器新商品開発研究会
製品開発企画名	飯椀「まゆまり」に基づいた新商品の開発
概要	木曾漆器工業協同組合が所有する飯椀「まゆまり」の木地を活用し、海外およびインバウンド需要に対応した新商品の開発を行う。専門家の助言（知見）も踏まえ、木曾漆器の特徴である「木曾春慶」、「木曾堆朱」、「塗分呂色塗」の三技法などをはじめ、沈金・蒔絵など様々な技法・加飾がある中で、ストーリー性のあるもの、信州のイメージやインバウンド層に好まれる色合いを取り入れた新「まゆまり」のデザインを試作する。試作デザインは研究会で決定し、最終的にはテストマーケティングを経て商品化を目指す。
製品開発計画（仕様）	「まゆまり」堆朱デザインの決定 新「まゆまり」の試作 改良・試作を重ね、製品企画を決定 商品 PR パンフレットの仕様決定
試作等に係る概算経費	98,000 円（材料、試作等）
現在の飯椀「まゆまり」  （※転載厳禁）	

内山紙新商品開発研究会・企画書

研究会名	内山紙新商品開発研究会
製品開発企画名	新型ちりとりの商品化（仮）
概要	内山紙の和帳や名刺入れなどの商品開発・製作は、ほぼ一人で担っており、生産量に限界があることから、大量生産への対応が困難である。既存商品の一つである「ちりとり」については、内山紙の素材特性を活かし、形状を変化させることで、ランプシェード等への派生が可能であるとの意見が示され、新たな商品展開の素材（原型）として有望である。これらの内容を踏まえ、現行品を基軸としつつ、内山紙の特徴を活かした新たな商品開発を進める方針を決定した。専門家も交えた研究会で海外展開・インバウンド需要に対応した新商品デザインを決定する。
製品開発計画（仕様）	新型ちりとりの仕様決定（形状等） 新型ちりとりの試作 改良・試作を重ね、商品企画を決定する 商品 PR パンフレットの仕様決定
試作等概算経費	48,000 円（材料、試作費用等）
現在のちりとり  （※転載厳禁）	